



次世代基準という新しい企業スタンダード

令和7年4月7日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業の強さは、自己製品とサービスの市場における高い要求性において存在する。これは優れた技術とシステムにおける利便性と機能性が、今日その市場における価値を与え、その独自性は、市場における固定した需要において企業経営の安定性を実現できるものである。

これらは次世代基準という企業の転換であり、市場における安定した需要とともにその企業経営の絶対的根安定性を実現できるものである。

実体経済というものが、虚栄を排除した、数値における市場への正しい判断であるならば、製品における企業の構築は、経済活動とそれを与える社会活動において、その適正な姿が導き出されるのである。

これらは国民における消費者志向とともに、生活を支える経済という現実が、正しい経済システムすなわち倫理的な経済活動とともに、その企業の構築を許容するものである。

これらは他方においてマネーゲームが存在する。今日の経済の狂乱はそれら現実を有するのである。

しかし誠実な企業活動は唯一国民の生活を与える現実なのである。これらが本来の経済の姿であることは正しいのである。

これら経済の健全性の回復は、その時代先端性とともに未来という可能性を有することができるのである。

これら企業の新たな可能性は、技術の飛躍における企業の新たな自己プレゼンスの構築を与えるものであり、高い生産性への転換とともに、企業が確固とした自己構築を社会に対して実現できるのである。

これが誠実さと企業、他方においてマネーゲームと虚像という異なる現実を生むのである。